

海フェスタしずおかの機会を捉えて
～海運の認知度向上に向けての活動～

当協会は、「海と日本プロジェクト」の一環として、会員会社をはじめ、関係団体と連携し、「船ってサイコ～」と題した海事施設の見学会等を実施しており、海運の重要性を一般の方々に広く認識いただくべく広報活動に力をいれております。

今般、7月13日（土）～8月4日（日）にかけて、清水マリニビルにおいて開催された海フェスタしずおか「海の総合展」で、当協会は隣接したブースと連携し、パネルの展示や資料提供、PRビデオの放映等によるPR活動など、来場者の皆様に海運の重要性・船員の役割・水先人（海のパイロット）の業務等を伝える「海運ゾーン」として広報活動を展開しました。

期間中は多くの皆様にご来場くださり、「当たり前のように生活できるのは海運のおかげだと知った。もっと広く周知をすべきだ」「船員さんの仕事は大変だが重要な仕事でやりがいがあるので目指してみたい。どうしたらなれるのか?」といった声をいただきました。

特に、小さな男の子が操船シミュレータ上の船の船種や用途を言い当てて笑顔を見せたことが印象的で、お母様より「ここで最初にもらったDVD（『暮らしを支える日本の海運』：当協会制作）が大のお気に入り、何度も見て覚えた。毎日このブースに行きたいと言っている」と嬉しいお話もいただきました。

当協会では、今後とも会員各社・関係団体等と協力し、皆様の日々の生活を支える海運を広く知っていただくための活動を実施してまいります。

